



2020年11月6日

各 位

会 社 名 キリンホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 磯崎 功典  
(コード番号 2503)  
本社所在地 東京都中野区中野四丁目 10 番 2 号  
問 合 せ 先 コーポレートコミュニケーション部長 堀 伸彦  
(03-6837-7015)

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年8月7日に公表しました2020年12月期通期の業績予想を、下記のとおり修正することとしましたので、お知らせします。

記

#### 1. 業績予想の修正

2020年12月期通期の連結業績予想修正の内容(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上収益	事業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,824,000	百万円 140,000	百万円 118,500	百万円 90,500	百万円 64,500	円 銭 76円70銭
今回修正予想(B)	1,828,000	150,000	128,500	98,000	72,000	85円62銭
増減額(B-A)	4,000	10,000	10,000	7,500	7,500	—
増減率(%)	0.2%	7.1%	8.4%	8.3%	11.6%	—
(参考)前期実績 (2019年12月期)	1,941,305	190,754	116,823	81,438	59,642	68円00銭

#### 2. 修正の理由

当社は、主として新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、当社グループにおける主要な事業において連結売上収益が大きく減少し、当時の市場環境に鑑みると下半期においても当該影響が継続すると見込んでいたことから、2020年8月7日に業績予想を下方修正する旨の発表を行いました。

依然として、国内酒類事業における外食需要は従来水準に戻らず、また、国内清涼飲料事業においてもオフィス等の自動販売機を始めとして在宅勤務の定着等の影響により需要も大幅な回復は見られず厳しい状況が継続しています。一方で豪州においては、州によっては高い警戒レベルが

続くものの、飲食店の営業が徐々に再開されるなど、緩やかな回復が見られます。

当社グループの主要な事業については、国内事業は各事業において従前より実行してきたブランド戦略が新型コロナウイルスの感染拡大を受けた環境下においても、引き続きお客様支持を頂いていることに加え、海外酒類事業については、オセアニア総合飲料事業において業務用チャネルの販売が従来の想定をやや上回って回復しています。さらに、国内外の各事業における固定費を中心とした経費削減も計画を上回っていることから、連結事業利益は第3四半期決算時点において、既に通期業績予想数値の90%を超えて進捗しております。

以上の状況に鑑み、当社グループの2020年12月期通期決算が、前回発表した業績予想を上回るが見込まれるため、通期の業績予想を修正いたしました。

### 3. 将来に関する記述等についてのご注意

現時点においても新型コロナウイルス感染症拡大の具体的な収束時期や消費の回復時期を正確に予測することが困難なことから、今回修正予想は本資料発表日時点において当社が把握している情報を基に算出しております。

今後の業績動向を踏まえ、公表すべき事案が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

以 上